

5年2組 社会科「わたしたちの食料生産」

1. 「ふりかえり」のふりかえり

・当初は「何を書けばいいかわからない」と言っていた子どもたちも、10回を超えるふりかえりの経験で、量・質ともに向上してきた。

・ノートに子の分量で書くと20分ほどかかりますが、タイピングだと5分程度で多くの文字量を記入できる。意欲のある子は自宅で続きを書いている。

・失敗談を「次に生かせば宝物になる」と価値づけすることで、子どもたちは「失敗してもいい」「挑戦しよう」という気持ちを持てている。

「・・・だけど、少し喋ったりして文章を読むときに少し遅くなってしまったのが反省点です。」

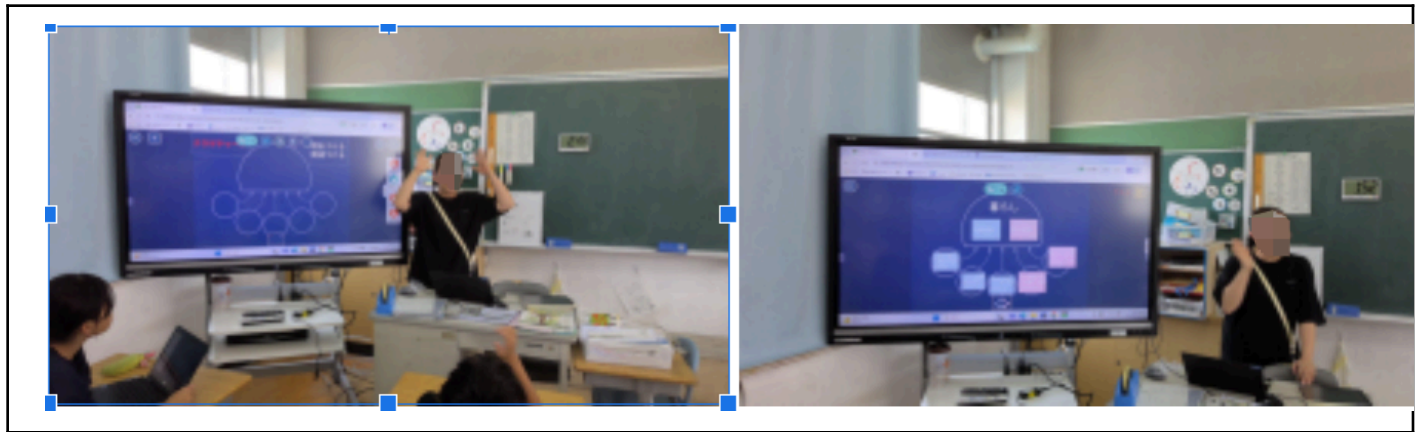
→「失敗したことが宝物！次に生かしたらいいんだよ！！」

この価値づけが子どもたちの失敗してもいいんだ！チャレンジしよう！というモチベーションにつながっています。

2. スライドカードのまとめ方

・苦手な子でも「説明モデル」や「まとめ方のモデル」を視覚的に示すことで、安心して学びを進められる。

・思考ツールを用いた説明練習を通して、情報整理力が向上している。



3. 新しい単元「食糧生産」の説明

学習の手引き 暮らしを支える食料生産（4時間）

★パフォーマンス課題
「日本の食料生産の産地には、どのような広がりがあるのか？」をまとめ、説明する。

★学習ループリック

★学習の流れ

①課題設定（学習計画・見通し）
・スライド？ノート？→1人？友だちと？→計画（どの内容の順番？）→時間予定

②情報収集（調べる）
・教科書や資料集からキーワードや必要な情報を集める。
・教科書に書きこむ、ノートにメモする、テキストに書き出す、写真を撮るのもGOOD

③整理・分析
・情報をまとめたり、種類・キーワードごとに分けたりする。
・集めた情報を自分の分かる言葉にする。

④まとめ・表現（まとめ・説明）
・ノートやスライドを見て、音声で説明する？
・ノートやスライドを見て、一つのテキストに文章にしてまとめる

⑤ふりかえり・改善
・自分の学びをふりかえり、できること、生かせることを書く。

どこで何が作られる？
なぜそこで作られる？

4. ルーブリックについて

・学習ゴールとしてルーブリックを先に提示することで、子どもたちは「何をどうまとめればよいか」「どのように説明できればよいか」を明確にイメージできている。

・「S評価」になるには、まとめ方や説明方法を工夫し、おいしい食べ物の魅力をお家の人に伝えられることが目標。

社会科:くらしを支える食料生産 学習ルーブリック			
評価基準	3 S (すばらしい)	2 A (できている)	1 B (もうすこし)
【知識・技能】 キーワードの活用	日本の食料生産の中の「野菜」「果物」「畜産」「水産物」「米」「地形」「気候の特色」のすべてのキーワードを使って、それぞれのおもな産地の広がりについて、自分の言葉で具体的にまとめている。	日本の食料生産の中の「野菜」「果物」「畜産」「水産物」「米」などのキーワードを使って、それぞれのおもな産地の広がりについてまとめている。	日本の食料生産の中の「野菜」「果物」「畜産」「水産物」「米」などのキーワードを使って、十分にまとめられていない。
【思考・判断・表現】 日本の食料生産についての説明、表現	日本の食料生産の「野菜」「果物」「畜産」「水産物」「米」などのおもな産地の広がりについて、具体例をあげてわかりやすく説明できる。	日本の食料生産の「野菜」「果物」「畜産」「水産物」「米」などのおもな産地の広がりについて、説明できる。	日本の食料生産の「野菜」「果物」「畜産」「水産物」「米」などのおもな産地の広がりについて、うまく説明できていないところがある。
【学びに向かう力】 粘り強さ、調整力、協力	授業に積極的に参加し、友だちの意見をよく聞き、自分の考えを深めている。見通しをもって、学習計画を立て、解決している。みんなが気持ちよく学習できるように気を配り、協力して課題に取り組んでいる。	授業に真面目に参加し、友だちの意見を聞きながら、自分の考えをまとめている。決められた学習の課題に取り組んでいる。	授業への参加が消極的だったり、友だちの意見を聞こうとしていなかったりしている。学習中、うまく協力できていないところがある。

泰山先生のミニ講座でも作ったルーブリック。学習のゴールとして、先に提示することで、子どもたちはどんな内容をどんなふうに学ばばいいか、何ができたらいいかはっきりします。

その点でも、重要かと思います。

5. 子どもの活動スタート(説明18分ののち)

・授業者の説明後に、めあての設定・教科書での情報収集を中心に学習を進めた。

・授業中の声掛け「わからなかったらルーブリックを見直そう」「友だちのまとめを参考にしよう」により、主体的な学習を促進。



6. ふりかえりタイム

・タイピング中に文章が消えるトラブルもあったが、子どもたちはへこたれず、5分ほどで100～200字、子によっては350字以上を打ち上げる姿が見られた。

・ふりかえりを「書きっぱなし」にせず、毎時間チェック・フィードバックしていることで、質が向上し、個々の学びの深まりにもつながっている。

うまく行ったことはわかりやすく行って情報収集を少しやって整理分析をしんぐつーというばってんの形のやつを使ってとてもわかりやすくまとめることができました。また、整理分析をうまくできることができました。また成功したことは、整理分析をうまくできたことです。整理分析をとりあえずシングツールで整理分析をうまくできたことが成功したことです。まだ次はまとめることや整理分析をもっと良くすることを工夫して次からはもっとまとめて録音まで行きたいです。今回の授業では整理分析をめあてでうまくできたことがめあてで達成できたことです。また次は時間があったら情報収集をもっとできたらいいなと思います。また難しかったことは整理分析を完璧にすることです。

317

今日は、情報収集の米づくりのことと野菜の事の続きまで書いたから次は果物のことと畜産のことを情報収集をする。今日できなかったことは、友達とやったけどあんまりきょうりよくできなかったから次は協力してできるようにする。今日知ったばっかのクラゲチャートをもう使いこなせた気がする。だから次はもっと使いこなせるように頑張る。前の社会のりんかしゅんさんの計画を立てることをできた。しかも結構できそうな計画が立てられた。今日は結構計画通りに学習を進められた。次も計画通りに情報収集をできたらいいなと思う。なんなら整理分析もちょっとできたらいいなと思う。前回の暖かい地域の暮らしの学習よりも録音やまとめをうまくできたらいい。今日は社会の教科書しか見てなかったけど次は社会の資料集を見てじょうほうしゅうしゅうをししてみようと思う

354

とりあえず情報収集するための準備は終わったけど情報収集を終わらせたかった。他にもできる所はやりたかったけどとりあえず次は情報収集と整理は終わらせたいと思った。次はシンキングツールに慣れてスイスイ進めるようにできるだけシンキングツールを使うもっとわかりやすく書きたいと思ったもっとわかりやすくできるようにやる。編集できるところは編集しないとわかりやしくならないと思ったからなるべく編集できるところは編集したいと思った。でも編集して逆にわかりにくくならないように気をつけたいと思った。もっとうまくできるように頑張る。今回はシンキングツールをうまく使えなかったから次はうまく使えるように頑張りたいと思った。今日はシンキングツールを使ったから明日はふせんでまとめてからシンキングツールでまとめようと思った

349

このふりかえりも、書きっぱなしでは、ここまで書くようになりません。毎時間、子どもたちのふりかえりを確認・評価し、フィードバックしているからこそ、ふりかえりの質も、そして個々の学びの質も向上しているということなのです。また、授業者がどんなふうにフィードバックしているか、取り上げたいと思います。